

平成28年度 各務原市社会福祉協議会事業報告書

平成28年度 各務原市社会福祉協議会 事業報告

めざす姿

「ささえて ささえられて みんなが主役のまちづくり」

基本方針

超少子高齢・人口減少社会の進行が社会問題となっているなか、医療や介護、障がい福祉、生活保護、子育て支援、年金などの社会保障制度において地域での自助・自立支援を前提とした改革が進められています。

こうした社会情勢のなか、「ささえて ささえられて みんなが主役のまちづくり」を目指す姿とした第3期地域福祉活動計画の2年目にあたる28年度は、誰もが住み慣れたまちで自立した生活が続けられるように、法律や制度だけでは支えきれない生活課題を解決するため、相談窓口の充実や住民による支えあい活動を進め、「地域の力を活かす福祉」事業を展開しました。

基本目標1 一人ひとりの声を受けとめ、必要とする情報を必要な人に届けます

＜方向性1＞住民の声を受けとめる環境をつくろう

重点事業1 総合相談窓口の充実

①生活相談センターさぼーとでの総合相談窓口

- ・さまざまな悩みや困りごとの相談に対応するなど解決に努めました。

相談件数 3,928件

実相談者数 432名

- ・啓発パンフレット等の作成

生活の困りごとの相談に包括的に対応する機関である生活相談センターさぼーとの機能と役割を紹介したパンフレットとポケットティッシュを作成し、関係機関・公共施設等に配布し、周知しました。

②拠点を活用した地域出張相談

- ・身近な場所で相談が受けられるように地域交流拠点である緑苑地区社協「ふらっと」、八木山地区社協「ささえあいの家」において毎月1回出張相談を実施しました。また稲羽西地区社協では、地域の公民館を会場に出張相談を年5回実施しました。

相談件数 延べ13件

＜方向性2＞わかりやすく情報を発信しよう

重点事業1 社協活動のPR

①社協だより年5回に追加・ウェブサイトによる情報提供

- ・社協かかみがはらの発行

社会福祉協議会の事業や講座の案内、ボランティア募集など福祉の情報提供を

行いました。年5回発行

(5月15日号、7月15日号、10月15日号、12月15日号、2月15日号)

- ・社協事業の紹介やボランティア募集等をホームページやフェイスブックで随時紹介、情報発信を行いました。また、各種メディアにも情報提供し、取材や記事掲載に努めました。

②わたしのお福わけ事業、お福わけ本の製本・配布

- ・福祉の輪を広げる市民参加型企画「わたしのお福わけ事業」において、各務原にゆかりのある方からのしあわせエピソードを募集したところ、小学1年生から83才までの方より投稿をいただきました。投稿いただいた作品は、随時フェイスブックに掲載、わたしのお福わけ本（第二集）を作成し、市内の学校・金融・福祉医療機関等に配布しました。また、大賞を選定する過程で作品展を開催し、温かい福祉の心の輪を広げました。

作品投稿数 : 99作品

わたしのお福わけ作品展：福祉フェスティバル 9月4日（日）及び
産業文化センターエントランスホール
9月7日（水）～9月13日（火）

発表及び表彰 : 11月27日（日）
（第50回 各務原市社会福祉大会）

入選作品 : 『ごみひろい』 大賞 高橋 花依さん 他5作品

③社協活動紹介DVDの作成

- ・ボランティアの協力により社協活動をわかりやすく15分にDVDにまとめ、イベント等で上映し、社協が行う事業が身近な福祉活動であることを周知しました。

④共同募金PR事業

- ・共同募金百貨店プロジェクト

企業等との連携協力によりさまざまな寄付つき商品・企画を創りあげ、商品等の売上の一部を赤い羽根共同募金の財源とする取り組みを開始しました。
協力店4事業所。

- ・共同募金箱イラストコンテスト

小学生に心温まる共同募金のイラストを描いてもらい、優秀作品を募金箱のデザインとし、企業等の職域募金を展開しました。

応募作品 92点

入選者 北前かりんさん 中野桜秋子さん 沖原充季さん 沖原司卓さん

⑤近隣ケアグループ活動DVDの作成

- ・近隣ケアグループを始められる方向けに、近隣ケアグループの基本的な活動をまとめたDVDを作成しました。

⑥サポート君バッジ・ストラップのPR

- ・社協キャラクター「サポート君」をイメージしたピンバッジを作成し、社協のPRに努めました。

基本目標2 みんなで支えあうつながりの“わ”を広げます

<方向性1> 住民同士の支えあいを進めよう

重点事業1 近隣ケアグループ活動の支援

・ご近所さんならではの声かけと見守り活動をとおして、地域のささえあい活動を進める近隣ケアグループ活動の支援を継続しました。

登録数 299グループ 活動員数 2,164名

①近隣ケアグループ活動アンケート調査の実施

近隣ケアグループ代表者に対し、アンケート調査を実施。活動費等について、現状把握をおこない、H29年度に向けての参考としました。

調査期間：7月～8月（2か月間） 調査対象：299グループ代表者

回答数：269

回収率：90.0%

②近隣ケアグループ研修会

開催日：5月22日（日）

場所：市民会館

演題：「地域がつながる 見守り活動のすゝめ」

講師：新井 康友氏（中部学院大学 准教授）

参加者数：766名

重点事業2 ボランティアハウス事業の発展強化

①ボランティアハウス事業の活動支援と啓発

・地域で暮らす高齢者や子育て中の親子、障がいのある人たちが閉じこもりにならないよう気軽に集まることのできるボランティアハウス事業を促進し、立ち上げの相談、調整等の支援に努めました。また、開設から10年を経過したハウスへの備品更新助成をするなど継続的な支援を行いました。

A型（毎週型）	B型（毎月型）	C型（ミニボランティアハウス）	D型（巡回型）
6	85	6	1

（開設数 98カ所・うち 新規7カ所）

・ボランティアハウス活動のPR

折りたたみ式携帯コップを作成、地域住民に配布しボランティアハウスへの参加者を広く募りました。

②ミニボランティアハウス及び巡回型ハウスの立ち上げ支援

・C型：年4回、5名以上で開催 3カ所が新設

<方向性2> 団体・組織間で連携しよう

重点事業1 関係機関との連携促進

①福祉フェスティバル2016 ～つなげる 福祉の魅力～

開催日：9月4日（日）

場所：市民会館・中央ライフデザインセンター一帯

来場者数：約2万人 出店団体：75団体

②自治会連合会長・地区社協会長合同会議 <6月22日（水）、11月 8日（火）>

③地区社協会長・福祉推進員合同会議 <4月21日（木）、2月14日（火）>

④母子及び父子並びに寡婦福祉会への助成 50,000円

母子及び父子並びに寡婦福祉会員ふれあい旅行事業	183名参加
⑤更生保護女性会への助成	30,000円
⑥中学生災害復興支援ボランティア派遣助成	100,000円
⑦母子父子家庭新入学及び卒業記念品の贈呈事業への助成	79,000円
新入学児童お祝い会 対象者39名	
ひとり親家庭等児童中学卒業記念品贈呈	対象者119名

<方向性3> 住民と地域がつながるまちをつくろう

重点事業1 コミュニティソーシャルワーカー（CSW）の充実

- ①生活相談センターさぼーとと連携した地域課題解決への取り組み
- ・地区社協担当者と生活相談センターさぼーとが情報共有し、地域での見守りや連携がとれる仕組みづくりを進めました。

重点事業2 福祉教育の推進

①福祉推進校・推進企業の促進

- ・次代を担う子供たちが、さまざまな体験活動をとおして福祉への関心を持ち、理解を深めることができるよう福祉推進校に指定しました。また、学校からの要請に応え、福祉体験講座の講師やボランティアを派遣しました。

・福祉推進校

小学校17校・中学校7校・高校3校・各務原特別支援学校 計28校

・福祉推進企業

福祉教育推進企業 1企業

②寺子屋事業「福祉体験学習」並びに子どもボランティアデビュー事業

将来を担う子どもたちに福祉の現場で障がいとお年よりについて学んでもらう各務原市寺子屋事業「福祉体験学習」を受託し、福祉教育の推進を図りました。

また、その修了生を対象に継続的なボランティア活動につなげるために子どもボランティアデビュー事業を展開し、子どもカフェの運営をとおして、子どもたちと地域とのつながりを深めました。

・寺子屋事業「福祉体験学習」

第1回 8月24日（水）（場 所：福祉の里）

障がいについて学ぶコース 33名

第2回 8月26日（金）（場 所：飛鳥美谷苑）

お年寄りについて学ぶコース 30名

・子どもカフェ5回開催> 参加者12名

第1回 10月 8日（土）（場 所：ボランティアハウス風）

第2回 11月12日（土）（場 所：ボランティアハウス風）

第3回 12月10日（土）（場 所：稲羽東小学校）

第4回 1月21日（土）（場 所：総合福祉会館）

第5回 2月18日（土）（場 所：稲羽東小学校）

③新入学児童お祝い事業

オリジナルトートバッグを作成し、小学校新1年生約1,296名に配布しました。

重点事業3 災害ボランティアセンターの充実

①災害ボランティアセンターの人財育成事業

4月14日に発生した熊本地震後、6月29日（水）から7月5日（火）まで災害ボランティアセンター立ち上げ等の支援を行うため、熊本県社会福祉協議会西区事

務所に職員1名を派遣しました。

また、市総合防災訓練に参加し、災害時の職員の動きについて確認しました。各務原市ひとづくり講座では、災害ボランティアセンターについて講義を行い、地域住民の理解を深めるよう努め、災害ボランティアセンター運営マニュアルについて見直す機会となりました。

基本目標3 誰もが進んで参加できる地域福祉活動を続けていきます

＜方向性1＞ 地区社協らしさがだせる取り組みをしよう

重点事業1 地区社協活動の支援

①17地区社協活動の生活支援の取り組み強化

・企画提案型助成事業の継続支援および拡充

②17地区社協の実情にあわせたメニュー事業の展開

・地区交付金

7,483,000円

・メニュー事業助成金（歳末事業含む）および内訳

15,224,094円

事業名	近隣ケアグループ研修	地域の困りごと調査	福祉座談会	ボランティアハウス事業	ふれあい交流事業	機関紙の発行	歳末たすけあい特別事業	食を通じた生活支援事業	生活支援ボランティア団体連携事業	福祉の人財発掘事業
地区社協名	回数	回数	回数	箇所	回数	回数	回数	回数	回数	回数
那加一	1			5	1	3	1	1		2
那加二東部	1		1	8	2	2	1			1
雄飛	1		1	2	4	2	1			
那加三	2	1	2	8	1	3	1			
尾崎			4	3	3	3	1			1
稲羽西	1		1	4	1	2	1			2
稲羽東	1	1	1	2	2	1	1			
川島				4	1	1	1	1		
鵜沼第一	1	1	1	5	2	2	1			1
鵜沼第二	1		1	6	2	2	1			1
陵南	1	1	1	4	3	2	1	1		5
鵜沼第三			1	6	2	2	1	8		
各務	2		2	7	3	2	1			2
緑苑	2		4	6	1	12	1			1
八木山	2	5	4	2	8	16	1			1
蘇原北部	1		1	14	3	2	1			1
蘇原南部	1		1	12	4	2	1			
合計	18	9	26	98	43	59	17	11	0	18

※ボランティアハウスは新規7カ所。年度途中で解散したハウス1カ所。

- ・夢を実現プロジェクト事業助成金 3,900,000円
各務地区、緑苑地区、八木山地区
- ・小地域で行う夢を実現プロジェクト事業助成金 641,304円
那加一地区、各務地区、蘇原南部地区

③地区社協会長情報交換会や広報研修会

- ・地区社協会長情報交換会

<第1回>

開催日 : 6月22日(水)

場 所 : 産業文化センター

内 容 : 子育て支援事業について、独自事業について
社協の認知度を上げる工夫について
地区社協と近隣ケアグループの関わりについて

<第2回>

開催日 : 11月8日(火)

場 所 : 総合福祉会館

内 容 : 地区社協の独自事業について

- ・地区社協広報担当者研修会

開催日 : 7月5日(火)

場 所 : 総合福祉会館

内 容 : 伝わる広報紙の作り方

参加者数 : 25人

<方向性2> 生活課題に取り組もう

重点事業1 生活相談センターさぽーとの充実

①生活困窮者自立支援事業の実施

- ・生活困窮者自立支援法に基づく相談事業を受託し、生活困窮者の社会生活の自立支援と地域づくりを目指した相談支援を行いました。

相談件数 3,928件(再掲)

実相談者数 432名(再掲)

- ・生活困窮者の個別支援計画を作成し、関係機関で協議する支援調整会議を9回開催しました。
- ・住居確保給付金申請事務にかかる相談を18件(支給決定7件、給付延長2件)任意事業の一時生活支援事業を1件(相談5件)実施しました。

②生活困窮者への緊急食料品等提供

- ・適切な福祉サービス利用へつなぐとともに、一時的措置として食料を給付しました。

給付件数 62件(うち寄付米の給付 54件)

セカンドハーベストを通じた食料給付 39件

③ひきこもり家族の会

- ・ひきこもりの家族が集まり、同じような悩みを抱える者同士で茶話会をもちました。気持ちの分かちあいや、気づきを促し、課題の整理や適切な機関へつないでいきました。6回の開催

<4月6日(水)、6月16日(水)、8月4日(木)、10月6日(木)
12月1日(木)、2月2日(木)>

④生活福祉資金貸付事業

- ・低所得者世帯や離職者など経済的支援を必要とする世帯に自立を促し、安定した生活を営むため生活支援費や福祉資金などの資金を貸し付け、必要な助言・指導をしました。

資金の種類	新規貸付件数
総合支援資金	4件
緊急小口資金	43件
福祉費	8件
教育支援資金	11件
合計	66件

- ・貸付に関する相談 延べ1,010件

⑤法人後見事業

- ・弁護士と顧問契約を結ぶなど専門機関との連携を図り、法人での成年後見業務を実施しました。後見専門員1名、後見支援員2名の体制で実施しました。

受任件数 2件(類型:後見1件、保佐1件)うち1件終結

⑥成年後見制度普及講座の開催

- ・高齢者や障がい者を支援するサービス事業所の職員や、医療機関の相談員を対象に成年後見制度の理解を深める講座を開催しました。成年後見制度利用促進事業(岐阜県社会福祉協議会の受託事業)として実施し、各務原市・羽島市・岐南町・笠松町2市2町の事業所を対象に行いました。

開催日 : 11月24日(木)

場所 : 産業文化センター

講義 : 成年後見制度とどうつきあうか

講師 : 岡川毅志さん(一般社団法人ぎふ権利擁護センター代表)

参加者数 : 98名

⑦日常生活自立支援事業

- ・岐阜地区福祉サービス利用支援センター
- ・判断能力が低下し日常生活に不安のある人が、住み慣れた地域で安心した生活ができるように、「福祉サービス利用にかかる援助」「日常的金銭管理」「書類等預かり」のサービスを契約に基づき行いました。

生活支援員 : 7名

継続契約件数 : 41件

新規契約件数 : 13件

生活支援員および担当職員研修会の開催

開催日 : 2月22日(水)

場所 : 総合福祉会館

参加者数 : 11名

⑧障がい児者計画相談支援(ケアプラン)の作成、相談支援充実・強化事業

- ・障がい者特定相談支援事業所の指定

障がい者特定相談支援事業所の指定を受け、障がい児者のプラン作成と地域相談支援事業に取り組みました。

計画相談支援件数 63件 モニタリング 60件

重点事業2 福祉有償運送事業の推進

①福祉有償運送事業

- ・運転手を雇用し、利用者に対し安定した利用ができるよう努めました。

＜登録者数 62名 運行実績 482回＞

重点事業3 介護保険法・障害者総合支援法に基づく支援

①居宅介護支援事業（ケアプラン作成）、主任ケアマネジャー配置、認定調査実施

- ・要介護認定の高齢者等が安心して在宅で生活できるよう、本人や家族と相談して適切な居宅介護サービス計画を作成しました。

介護度	介護度別件数	介護度別比率	月平均件数
要介護1	790	36.1%	65.8
要介護2	775	35.4%	64.6
要介護3	362	16.1%	29.3
要介護4	202	9.2%	16.8
要介護5	69	3.2%	5.8
計	2,188	100.0%	182.3

ケアプラン作成 2,188件

要介護認定調査実施 246件

主任ケアマネジャー 1名配置

②訪問介護事業、障がい児者ヘルパー、ガイドヘルパー派遣事業

- ・要介護高齢者や障がい児者の在宅生活を支援するホームヘルパーやガイドヘルパー派遣を行いました。また、制度外サービスとして『まごころサービス』を実施しました。28年度は要支援者が順次、総合事業（訪問型サービス）に移行されました。

- ・要介護認定者へのサービス提供実績

サービス形態別の実績

利用者数 <延べ737名> 月平均利用者数 <61.4名>

内 訳	回 数	延べ時間
身体介護	3,192	2,344
身体生活	1,831	2,310
生活援助	3,368	3,045
合 計	8,391	7,699

・要支援認定者へのサービス提供実績（従来の予防事業）

利用者数 <延べ334名> 月平均利用者数 <27.8名>

内 訳	利用者数	利用頻度
予防Ⅰ	235	週1回程度
予防Ⅱ	99	週2回程度
予防Ⅲ	0	週2回を超えるもの
合 計	334	

・訪問型（総合事業）

利用者数 <延べ300名> 月平均利用者数 <25.0名>

内 訳	利用者数	利用頻度
予防Ⅰ	204	週1回程度
予防Ⅱ	92	週2回程度
予防Ⅲ	4	週2回を超えるもの
合 計	300	

・障がい児者へのサービス提供実績

利用者数 <延べ808名> 月平均利用者数 <67.3名>

内 訳	利用者数	利用回数
身体障がい	206	2,390
知的障がい	153	1,401
精神障がい	179	1,132
障がい児	36	474
同行援護	95	390
移動支援（障がい者）	112	343
移動支援（障がい児）	27	87
合 計	808	6,217

・高齢者生活援助活動員派遣事業のサービス提供実績

利用者数 <延べ24名> 月平均利用者数 <2名>

利用時間 <延べ95時間>

③訪問入浴サービス事業、在宅障がい児者訪問入浴サービス

- ・自宅の浴槽を使っての入浴が困難な要介護高齢者や障がいのある人等を対象に特殊浴槽を用いた居宅での入浴サービスを提供しました。

介護保険の訪問入浴実績

利用者数 <延べ50名> 利用回数 <延べ328回>

障害者自立支援法による実績

利用者数 <延べ54名> 利用回数 <延べ303回>

重点事業4 地域包括支援センターの受託

- ・地域の高齢者が安心して暮らせるように、看護師、社会福祉士、主任ケアマネジャー、認知症地域支援推進員が連携して介護予防や総合相談、権利擁護などの事

業に取り組みました。

①総合相談支援 <903件>

受付別内訳 (電話411件、来所194件、訪問256件、その他42件)

内容別件数 (重複あり)

(1) 介護保険制度の利用	519件
(2) 介護予防事業の利用	23件
(3) 福祉サービスの利用	72件
(4) インフォーマルサービスの利用	94件
(5) 医療・保健サービスの利用	76件
(6) 住宅改修に関する相談	83件
(7) 福祉用具に関する相談	137件
(8) 介護方法に関する相談	83件
(9) 虐待に関する相談	23件
(10) 認知症に関する相談	145件
(11) 権利擁護に関する相談	60件
(12) その他、障がい、出前講座等に関する相談	135件

②介護予防プランの作成

・総合事業対象者のプラン作成<779件>

・要支援1、要支援2の利用者にかかるプラン作成<2,694件>

③介護予防事業及び在宅介護支援事業

(1) 介護予防・日常生活支援総合事業対象者把握事業	56件
(2) 転倒骨折予防教室	14回
(3) アクティビティ・認知症予防介護教室	30回
(4) 地域包括ネットワーク事業	3回
(5) 高齢者体力測定補助事業	4回
(6) 認知症サポーター養成事業	27回
(7) 家族介護者教室	3回
(8) 認知症高齢者及び家族支援事業	3回
(9) 認知症高齢者把握事業	44件
(10) 要援護高齢者見守り事業	97件
(11) 住宅改修プラン作成	23件
(12) 食の自立支援事業アセスメント	34件
(13) 生活援助活動員派遣事業アセスメント	4件

主な取り組み

・認知症キッズサポーター養成講座<小学校5年生及び中学校2年生対象>

那加第二小学校 11月21日(月)

那加第三小学校 10月13日(木)

蘇原第二小学校 11月29日(火)

- 那加中学校 10月17日(月)
 桜丘中学校 12月 1日(木)
- ・認知症サポーター養成講座<市民及び企業対象>
 - ぎふ介護各務原 7月 7日(木) 18名参加
 - 蘇原南部地区社協 近隣ケアグループ 7月10日(日) 54名参加
 - 各務原警察署 8月18日(木) 54名参加
 - 心音ケアセンター 8月24日(水) 22名参加
 - 各務原市内郵便局 10月19日(水) 23名参加
 - 那加三地区社協 近隣ケアグループ 11月11日(金) 102名参加
 - 蘇原地区シニアクラブ 3月 4日(土) 60名参加
 - ・さくらカフェ(認知症カフェ)
 - 桜丘中学校 6月18日(土) 58名参加
 - 総合福祉会館 8月31日(水) 41名参加
 - 桜丘中学校 12月17日(土) 46名参加
 - ・介護者交流会
 - 第1回 ハンドマッサージでリラックス 4月27日(水) 11名参加
 - 第2回 認知症にやさしい献立とは 10月25日(火) 17名参加
 - 第3回 リフレッシュ体操やマジックショー 2月11日(土) 18名参加
 - ・もの忘れよろず相談医による講話 11月 7日(月) 63名参加
 - 講師：各務原病院 天野 雄平 先生
 - 講話：「認知症を防ぎ長生きする講座～もの忘れとたたかうために～」
 - ・地域包括ネットワーク会議
 - 那加第二小学校区 11月15日(火) 28名参加
 - 那加第三小学校区 11月25日(金) 21名参加
 - 蘇原第二小学校区 12月 2日(金) 28名参加

④包括的・継続的ケアマネジメント事業 <77件 重複あり>

(1) 個別事例への助言対応	32件
(2) サービス担当者会議出席及び開催	16件
(3) ケアマネジャー資質向上のための研修	8件
(4) 介護支援専門員に対する情報支援等	20件
(5) 主治医との連携	1件
(6) 地域ケア会議(個別)	3件

⑤その他の取り組み

- ・地域包括支援センター連絡会 <年12回開催 毎月第2水曜日>
- ・高齢者包括ケア会議
 <年3回開催 6月1日(水)、10月12日(水)、2月8日(水)>
- ・ボランティアハウス、シニアクラブ、地区社協等との連携事業等
 <101回>
- ・地域包括支援センターだよりの発行
 <年4回発行 8月15日号、10月1日号、12月1日号、2月1日号>

基本目標4 人と地域ができることを活かす仕組みをつくりま

＜方向性1＞ みんなの出番をつくろう

重点事業1 ボランティアセンターの充実

①個人・団体登録促進と活動支援

ボランティア通信の発行や、一芸ボランティア冊子などでボランティア紹介や調査等を行いました。

- ・ボランティア活動に関する相談、登録等

団体登録 82団体 1,473名

個人登録 49名

ボランティア情報配信登録 18名

- ・ボランティア活動保険の加入

ボランティア中の事故やけがに備えるための保険に加入し、事故等の対応を行いました。

②ボランティア養成講座、体験講座

講座名	期 間	受講者	修了者
手話奉仕員養成講座・入門編	7月28日～12月15日 毎週木曜日18回	8名	7名
手話奉仕員養成講座・基礎編	7月 8日～12月16日 毎週金曜日23回	8名	6名
点訳ボランティア養成講座	4月25日～ 8月 8日 毎週月曜日15回	5名	5名
音訳ボランティア養成講座	4月12日～ 7月26日 毎週火曜日15回	10名	6名
要約筆記体験講座	2月2日, 9日, 16日, 23日 木曜日 計4回	7名	—

③ボランティア交流会

- ・ボランティアハウス代表者や個人ボランティア、団体ボランティアが集まり、市内におけるボランティア活動の活性化や互いの顔が見える関係づくりを目的に開催しました。個人ボランティアがボランティアハウスの担い手となるよう相互の交流が図られることを目的に開催しました。

日にち : 8月10日(水)

場 所 : 産業文化センター

第1部 レクリエーション講習会

演 題 : 「サロンで使えるレクリエーション」

講 師 : 岐阜県レクリエーション協会副会長 小原 信子氏

第2部 情報交換会

内 容 : 「ボランティア活動紹介」「ボランティアを始めたきっかけ」などをテーマに各グループに分かれ、交流しました。

参加者数 : 92名(個人ボランティア9人・一芸ボランティア13名
ボランティアハウス関係者70人)

④収集ボランティアサロンへの参加促進

- ・関係機関から集まった古切手を整理し切手愛好家の方に購入していただきました。

開催日 : 毎月第3金曜日10時～12時

場 所 : 総合福祉会館

参加者数 : 延べ59名

切手換金額：2,500円

重点事業2 高齢者の社会参加支援

①お達者でクッキング事業

食生活改善協議会のボランティアの協力により一人暮らし高齢者や高齢者夫婦を対象に年2回開催しました。

第1回

開催日 : 6月22日(水)

場 所 : 総合福祉会館

参加者数 : 16名

第2回

開催日 : 11月22日(水)

場 所 : 総合福祉会館

参加者数 : 20名

重点事業3 障がい者の活躍支援

①障がい者サロンへの活動支援

・障がい者サロン「みっばらクック」の継続的な活動を支援するために活動費の助成を行いました

<年間12回実施 延べ299名参加>

重点事業4 子育て支援事業の推進

①ファミリーサポートセンター事業・交流会、産後お助け隊事業、ファミサポ利用会員・サポート会員の登録促進

・主に小学校3年生までの子どもを対象に、学校や保育施設までの送迎や一時預かりなど保護者にかわってサポート会員が行いました。

登録者数 : 414名(利用会員316名、サポート会員98名)

※産後お助け隊サポーター18名含む、利用会員兼サポート会員17名)

コーディネート実績 : 523件

新規登録者 : 65名

・事業利用促進としてお試し券の発行(料金を本会が負担)

お試し券利用者 : 7名

・ファミリーサポート交流会

市内でファミサポの周知による会員数の増加、現在の会員相互の交流を図る目的で交流会を開催しました。

開催日 : 3月22日(水)

テーマ : 「親子でくるくる巻こう!~簡単ラップサンドおやつ~」

内 容 : 簡単ラップサンドをみんなで作り、会員同士の交流および新規会員募集をおこないました。

参加人数 : 54名(利用会員12組・サポート会員7名・一般10組)

・地域で子育て支援研修会

近年の社会問題である「子どもの貧困」をテーマに、少しでも多くの方に子ども

もの居場所の必要性やこれからの地域における子育て支援のあり方について理解を深めてもらうことを目的に開催しました。

開催日 : 11月20日(日)

場所 : 中部学院大学 各務原キャンパス1101教室

演題 : 地域で育む子どもの居場所～気遣い人となって寄り添う～

講師 : NPO法人ゆめ・まち・ねっと 渡部 達也氏・渡部 美樹氏

参加者数 : 94名

③子育てサロンへの活動支援

- ・親子サロンへの助成

市内6カ所で開催されている親子サロンへ活動費を助成しました。

重点事業5 共同募金運動の促進

①共同募金支会の運営

- ・共同募金運動(赤い羽根募金・歳末たすけあい募金)の展開及びPR

年度	赤い羽根募金	歳末たすけあい募金	募金額合計
28	18,177,596円	2,478,785円	20,656,381円

②歳末たすけあい配分事業 (配分実績の内訳)

配分先	対象者数	配分金額
障がい者通所施設	32施設 1,659名	798,068円
地区社協活動(歳末たすけあい特別事業)	17地区 3,606名	1,680,717円
合計	5,265名	2,478,785円

③共同募金百貨店プロジェクト

④共同募金箱イラストコンテスト

<方向性2> 地域の新たな支えあいの仕組みをつくろう

重点事業1 夢を実現プロジェクト事業の促進

①企画提案型 一 夢を実現プロジェクト事業

- ・企画提案型助成事業の継続支援および拡充

緑苑地区社協	「常設活動拠点を利用した地域ふれあい事業」	拠点運営
	「地域通貨を活用した生活支援事業」	生活支援
八木山地区社協	「支え合うまちの拠点としてのささえあいの家の機能充実事業」	拠点運営
	「より住みやすいまちづくりを目指す生活支援活発化事業」	生活支援
各務地区社協	「歴史で広がる郷土の福祉事業」	福祉教育

②企画提案型 一 小地域で行う夢を実現プロジェクト事業

那加一地区社協	「新加納地区暮らし安全防犯パトロール事業」	生活支援
各務地区社協	「川崎団地 お出かけサロン」	外出支援
蘇原南部地区社協	「六軒西第6自治会防犯パトロール事業」	生活支援

重点事業2 権利擁護事業の推進

- ①法人後見事業（再掲）
- ②日常生活自立支援事業（再掲）
- ③成年後見制度普及講座の開催（再掲）

重点事業3 法人組織の整備強化

①役員構成の強化再編

社会福祉法人制度の改革に伴い、経営組織のガバナンス強化・事業運営の透明性の向上・財務規律の強化について体制づくりを進めました。

理事会・評議員会の開催

理事会 5月26日（木）、10月28日（金）、12月20日（火）、
3月29日（水）

評議員会 5月26日（木）、10月28日（金）、12月20日（火）、
3月29日（水）

評議員選任・解任委員会 1月24日（火）

②第50回社会福祉大会

開催日：11月27日（日）

場所：市民会館

第1部 式典

内容：福祉関係功労者の表彰、わたしのお福わけ大賞者の表彰

第2部 後援

講演：「継続する心」

講師：山本 昌さん

参加者数：福祉関係者及び市民 約600名参加

③会員加入促進と使途説明の強化

多くの市民に協力いただけるよう、昨年同様各地区社協単位でチラシを作成しました。

世帯会員				賛助会員		合計
年度	会員数	加入率	会費額	法人・団体・個人会員 会員数	会費額	
28	37,419	80.2%	18,716,900円	763	3,213,000円	21,929,900円

- ・会費使途説明資料の作成

よりわかりやすい資料の作成に努め、会費への理解促進を図りました。

- ・寄付金

件数	寄付金額（物品を含む）
97件	4,813,360円

④安全衛生委員会

- ・職員の健康管理のため健康診断を実施するとともに、安全衛生委員会を開催しま

した。

職員健康診断	6月20日(月)
安全衛生委員会	毎月1回(月末開催)
産業医参加による健康指導	10月19日(水)

⑤職員レベルアップ講座

- ・市民サービスの拡充に努め、資質向上を図るため職員全体研修会を行いました。

<第1回>

開催日 : 7月12日(火)
場 所 : 総合福祉会館
演 題 : 職場・家庭での片付けについて
講 師 : 香田 佳江氏(ミラクルマジック代表)
参加者数: 59名

<第2回>

開催日 : 3月 9日(木)
場 所 : 総合福祉会館
演 題 : メンタルヘルスと快眠について
講 師 : 今枝 昌子氏(一般社団法人日本快眠協会)
参加者数: 47名

重点事業4 新たな制度外生活支援サービスの創出

①まごころサービス事業

- ・介護保険では行うことができない制度外サービスとして提供しました。

通院支援 14名
大掃除 3名
ゴミ出し 11名

- ・利用者数 延べ28名

②車いす、松葉杖、レクリエーション用品等の貸出

- ・車いすや松葉杖の貸出

貸出件数 123件

- ・レクリエーション用品等の貸出

貸出件数 25件